

# 『医療の改善活動』全国大会 in 北九州』に参加しました

平成30年11月16日・17日に北九州市にて、第20回『医療の改善活動』全国大会が開催されました。杏園会グループから3チームが参加しましたのでご紹介します。

チーム名：チーム地域包括ケア病棟  
テーマ名：回そうPDCA！つなげよう退院支援へ

### 活動概要：

地域包括ケア病棟は、急性期治療を経過した患者様や何等かの体調の変化で在宅での生活が困難となった患者様を対象に、治療やリハビリ、社会福祉サービスの提案などの支援を行っている病棟です。入院期間は60日と定められています。そんな当病棟は、患者様の退院後の生活を入院時からイメージして、日々の看護業務に取り入れていけるよう、約2年に渡ってTQM活動を実施してきました。主な活動内容は、①在宅復帰支援シートを作成し、②目標をもとに看護師は食事、排泄、清潔、活動、医療の具体的到達目標を設定して定期的に評価、介入していく仕組みを作りました。活動により患者様が、目標に到達するまでに看護介入がスムーズになり、患者様の早期目標到達につながりました。

### 全国大会の感想：

参加されたチームは、職種も、テーマも多様でした。医療業界には、日々様々な問題があります。今後とも問題解決手法を用いて、一つずつ解決していきたいと思えます。

熱田リハビリテーション病院 小林沙織



チーム名：出前一丁  
テーマ名：リハ提供していいの、判断に迷わないために

### 活動概要：

「訪問リハビリを提供していいか、適切に判断できるようにすること」をテーマにQC活動を行った。「判断に迷った回数」を「月の全提供回数」に対する割合で表した値を『迷った指数』と定義し、管理特性として把握した。対策として、①主治医リスク管理記録、②利用時リスク説明書、③リハビリ中止基準、の3種類の書類を作成した。結果は、『迷った指数』は15.5%から3.7%に低減し、判断に迷うような場面で「根拠を持って判断できる」ようになったことで、業務が安全に行えるようになった。

### 全国大会の感想：

全体的に発表内容のレベルが高く、プレゼンテーションも完成度が高いと感じた。また職場全体や他部署を巻き込むなど、組織的に横断的な規模の大きな取り組み(活動)をしているサークルも多くあり、組織全体のQC活動に対する意識の高さに驚いた。あんずとしても、組織全体(職員全員)がQC活動に取り組む意識・姿勢を改革していかなければならないと感じた。

介護老人保健施設あんず 桑田康行



チーム名：1日の予定を立て隊  
テーマ名：当日のリハビリ時間の告知の明確化

### 活動概要：

トリトンデイケアでは、利用中の50%の利用者様から、『リハビリ時間がわからない』という、問い合わせが寄せられていた。そこで、リハビリ時間の告知を、ご自分の座席から見える位置に変更。すると、介護職員に時間を尋ねる利用者様が減少。リハビリ時間になると、自らリハビリ室に来て下さる方や、デイケアで過ごす時間を有効活用し、趣味活動(手芸・カラオケ等)に取り組む方が増えました。トリトン通所職員とリハビリスタッフ一丸となって、この取り組みは現在も実施しています！

### 全国大会の感想：

全国大会に参加してみると、地域や色々な部署の垣根を越えて協力しあって、取り組んでいるチームが多く驚きました。いつもどこかに改善したほうが良い課題が転がっている中で、杏園会でも施設や病院の垣根、部署間同士の垣根を越え、活動していければと思います。利用者様ファーストでこれからも、トリトン通所リハを盛り上げていきたいと思えます！

介護老人保健施設 トリトン

亀谷美紀  
松田涼平



第50号 (H30年度 秋冬号)  
医療法人 杏園会  
熱田リハビリテーション病院  
広報委員会  
〒456-0058  
愛知県名古屋市長久寺六番一丁目19番19号  
電話 052-682-3077  
http://www.kyoenkai.or.jp



住宅型有料老人ホーム いちばん  
平成30年9月  
熱田区一番にOPEN

## 熱田通所リハビリテーション ★行事レクリエーション(物作り編)★

- ◆**千支の飾り物(12月)**  
来年の千支(いのしし)の押絵や貼り絵、置物を作成しました。置物は、布の中に綿を詰めて、チクチク縫い付けたり胴体の出来上
- ◆**アクリウム、ハバクリウム(7月)**  
綺麗でカラフルな紙を、花や魚の形に切り、細かな白い線を、きれいなビーズ、緑の葉など、素敵な小物達をガラス瓶の中に入れて飾りつけ。中に専用のオイルを注げば、夏にピッタリの涼しげな置物の完成です。
- ◆**押し絵、貼り絵(4月)**  
貼り絵では、椎太郎、浦島太郎、金太郎のいすれかを、選んだたたき作業開始。まず細かな部品を切り取って、布に貼り付けます。部品より少し大きめに、布をチョキチョキと切ったら、ボンドを塗って部品をくっめます。皆さんボンドが、手にくっつきながらも、一生懸命。出来た部品を、それぞれ順番に貼り合わせたら、いろいろな太郎君の出来上がり！細かな作業で、職員も手慣れたら、悪戦苦闘…。その甲斐あって、個性あふれる素敵な作品ばかりです。
- ◆**ティッシュボックス作り(2月)**  
箱を組み立てた後、花柄や動物柄、かわいい模様など、お好きな布をボンドで貼り付け、綺麗なレースで飾り付けたり出来上がり！「真様にプレゼントする」と頑張って作っている方も。素敵ですね！
- ◆**ティッシュボックス作り(2月)**  
箱を組み立てた後、花柄や動物柄、かわいい模様など、お好きな布をボンドで貼り付け、綺麗なレースで飾り付けたり出来上がり！「真様にプレゼントする」と頑張って作っている方も。素敵ですね！



見学・体験も行っていきます。送迎等もお気軽にご相談ください。

**熱田通所リハビリテーション**  
**TEL: 052-682-3167**



ちやみに、料理レクでは、どら焼き、餃子、とん平焼き、クレープ、ちゃんちゃん焼きを作りました。また、喫茶レクでは、病院1階の喫茶タキへ出かけた時、通所5階を飾りつけてお茶会を開き、いつもと違った雰囲気味わって頂きました。

熱田通所リハビリテーション 寺下美香



# 朝食を食べよう



こんにちは。栄養科です。

突然ですが、皆さん毎朝朝食は、食べていますか？朝食を欠食する人の割合は、年々増加傾向にあります。食欲がない、食べる時間がないなど理由は様々ですが、朝食を食べることで、体がどのように変化するか知っていますか？今回は、朝食を食べることの大切さを知って頂くよう、朝食の役割について紹介させていただきます。

## ★朝食の役割★

### ① 脳のエネルギーを補う

脳は、ブドウ糖をエネルギー源にしています。ブドウ糖は、パンやご飯などの炭水化物を消化してできたものです。人は、寝ている間もエネルギーを消費し続けるため、朝食を食べることで寝ている間に消費したエネルギーを補充し、脳を活性化させることで、身体を目覚めさせる役割があります。また脳が、エネルギー不足になるとイライラしたり、集中力や記憶力の低下につながります。

### ② 睡眠中に下がった体温を上げる

体温は、夜間低く、日中は高くなります。食事をすることで、「食事誘発性熱産生」という熱が体内で発生します。これは、食事が体内で吸収、分解する際に発生する熱のことです。朝食を食べることで、睡眠中に低下した体温を上昇させることができます。体や脳の温度が上がれば、体全体が活性化します。

### ③ 便秘の解消

朝食を食べることで胃腸が活発に動き、便秘の解消につながります。特に、朝食時に温かい味噌汁や温野菜などの温かいものを食べることで、胃腸が温まりより胃腸の働きを活発にします。

### ④ 太りにくい身体をつくる

朝食を抜くことで、昼食時に空腹感が強くなり、食べ過ぎにつながります。また、空腹状態で昼食を摂取することで、血糖値が急激に上昇し、体はエネルギーを余分に溜め込んで太りやすくなります。朝食を抜くことは、肥満につながる恐れがあり、ほかにも急激な血糖値上昇により糖尿病などの、生活習慣病の原因となる場合もあります。

毎朝、朝食を食べる習慣をつけることで、健康的な体作りができます。理想的朝食は、主食(ご飯やパン)、主菜(肉・魚・卵・豆腐)、副菜(野菜)が揃った食事ですが、まずは簡単にできることから、朝食摂取に前向きに取り組んで頂きたいです。

栄養科 鈴木可奈



# ひびのファミリア診療所のご紹介

医療対応型 特別養護老人ホームひびのファミリアに併設されている「ひびのファミリア診療所」をご存じでしょうか。

ひびのファミリアは、医療対応型ということで、施設の中に診療所が設けられています。診療は、ひびのファミリアに入所されている利用者様がほとんどですが、利用者さまのご家族や、近隣の方の診察をさせて頂くこともあります。また、他のグループ施設の利用者さまも、皮膚科などは受診されることもあるそうです。



ひびのファミリア診療所には、画像検査(レントゲン・CT・心電図等)の設備がないため、必要な場合は本院へ受診していただいています。診療内容としては、診察・投薬・血液検査が主になりますが、先生方には丁寧な対応をいただいております。入所されている利用者様には、本院との連携で安心して下さっているものと思います。



◆診療時間：9:30～12:30

《診療担当医表》

曜日	月	火	水	木	金
診療科	内科	内科	内科	休診	皮膚科
担当医師	北田	古田	古田		長谷川

事務処理は、本院の医事課が通いで行っています。開設当初は、事務職員もひびのファミリアの職員の方も、慣れないせいで混乱したり、時間がかかったりということがあったようですが、もちろん今は大丈夫です。ちなみに、現在医師は全員女性とのことです。

本院や他施設の職員の方には、なかなか関わる機会が無いかと思っておりますので、ご紹介させていただきまして。

医事課 岩田豊子

# 『あぶりこっと』と『あつたりハ通信』

当院で発行している2種類の広報誌をご紹介します。

## ◆院内報『あぶりこっと』

患者様・職員向けの院内報として年2回発行し、病院行事や部署(施設)紹介等を職員の言葉でお伝えしています。最新号は、病院玄関等に掲示しています。創刊15年目を迎え、今号で50号となりました。

## ◆地域連携広報誌『あつたりハ通信』

連携医療機関及び、介護サービス事業所向けの院外広報誌として、年3回発行し、地域医療・介護連携を目的に、診療実績や当院の取り組み等をお伝えしています。院内掲示はありませんが、バックナンバーを病院ホームページにて閲覧可能です。今年度で創刊8年目を迎え、平成31年3月で26号の発行となりました。

その他に、広報誌ではありませんが、平成28年12月に『病院創立70周年記念誌』を発刊しました。病院(杏園会グループ)の変遷や現状を、たくさん写真と共にご紹介しています。閲覧は、外来待合室に1部あり、その場でのみとなります。ご覧頂くと、杏園会のことをより深く知ることが出来ます。 地域医療連携室 野々山尚孝

## 《バックナンバー掲載場所》

- ① 当院ホームページ上の「活動取り組み」を選択する。
- ② 閲覧したい広報誌を選択する。
- ③ 閲覧したいバックナンバーを選択する。



## ★病院ホームページ★

http://www.kyoenkai.or.jp



## 編集後記

★秋冬号の記事を担当させて頂きました。少しでも皆様に食事に興味を持っていただければ、幸いです。来年度も栄養科からの記事で皆様に少しでも楽しんで頂けるよう努めていきます。

栄養科 鈴木可奈

★寒い日が続きます。体調管理に気を付けて頑張って乗り切りましょう。

2階病棟 日高聖子

★今回は、ひびのファミリア診療所についてご紹介させていただきました。院内、グループ内でも知らない事も多いので皆様の記事も楽しみにしています。

医事課 岩田豊子

★平成最後の発行に携わることが出来、貴重な体験が出来ました。これからも、皆様と同じ時を過ごせることに感謝し、一日一日を大切に過ごしたいと思っております。ありがとうございます。

熱田通所リハビリテーション 寺下美香

★1年間ありがとうございました。貴重な経験になりました。

薬剤科 平野貴行

★至らぬ点もあったかと思いますが、広報委員として仕事が出来たかです。1年間ありがとうございました。

ました。

★今回、編集に関わっていませんが、寒くなっているので、体調管理に気を付けてください。

3階病棟 南真紀

★1年間ありがとうございました。今年も仕事、プライベートともに頑張りたいと思います。

4階A病棟 宮崎麻由美

★リハビリテーション科へは

リハビリテーション科 阪口聡

★本年度をもちまして、広報誌『あぶりこっと』及び『あつたりハ通信』の編集長を退任することとなりました。第38号『あぶりこっと』、第12号『あつたりハ通信』より6年半の間、編集長を務めて頂きました。編集長として、出来るだけ多くの方に読んで頂くように、目に留まり、読み易い広報誌を目指してまいりました。足を止めて読んで頂いた皆様、広報委員の皆様、執筆頂いた皆様、ありがとうございました。次号からは新元号と共に新体制での発行となります。これからご愛読頂けることを幸いです。

熱田居宅介護支援事業所 白田博

★本年度をもちまして、広報誌『あぶりこっと』及び『あつたりハ通信』の編集長を退任することとなりました。第38号『あぶりこっと』、第12号『あつたりハ通信』より6年半の間、編集長を務めて頂きました。編集長として、出来るだけ多くの方に読んで頂くように、目に留まり、読み易い広報誌を目指してまいりました。足を止めて読んで頂いた皆様、広報委員の皆様、執筆頂いた皆様、ありがとうございました。次号からは新元号と共に新体制での発行となります。これからご愛読頂けることを幸いです。

編集長 地域医療連携室 野々山尚孝

編集長 地域医療連携室 野々山尚孝